問題 2 次の流れ図の説明を読み、流れ図中の に入れるべき適切な字句を解答 群から選べ。

[流れ図の説明]

10 進数の値と基数を入力し、基数変換した結果を表示する流れ図である。

入力する値と基数変換における桁の値については、以下のとおりである。

- ① 10 進数は 0~32767 の範囲で入力し、それ以外はエラーとする。
- ② 基数は2~16の範囲で入力し、それ以外はエラーとする。
- ③ 基数が 11 以上の場合, 10 から 15 は, "A"~"F"を使用する。

流れ図で使用する配列については、以下のとおりである。

① 配列 ch[i] (i=0,1,…,15) には、桁の値となる文字を順番に格納している。

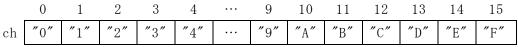


図1 配列 ch の内容

② 配列 Result[i] (i=0,1,…,15) には、基数変換後の結果を 1 桁ずつ、配列の最後から前の方へ順番に格納する。例えば、結果が"123"であれば、図 2 のように格納される。

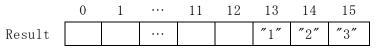
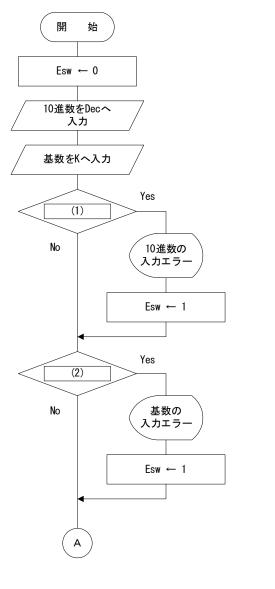


図2 配列 Result へ格納される結果

図 2 のように格納された配列 Result の 13 番目 \sim 15 番目までを順番に 1 文字ずつ改行しないで出力する。

なお、流れ図中における計算で、除算結果は小数点以下を切り捨てるものとする。

[流れ図]



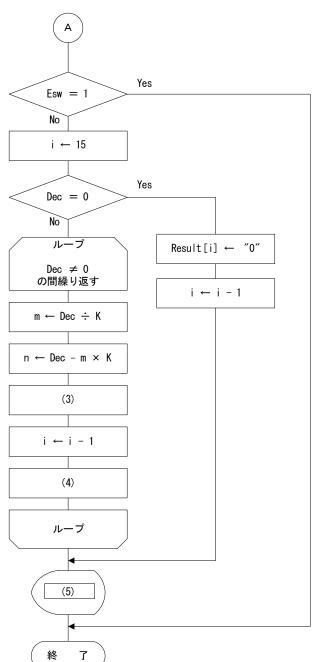


図3 流れ図

(1) の解答群

ア. Dec < 0 または Dec > 32767 イ. Dec < 1 または Dec > 32767

ウ. Dec < 0 かつ Dec > 32767 エ. Dec < 1 かつ Dec > 32767

(2) の解答群

ア. K < 1 または K > 16

ウ. K < 1 かつ K > 16

イ. K < 2 または K > 16

エ. K < 2 かつ K > 16

(3) の解答群

 \mathcal{T} . Result[i] \leftarrow ch[Dec]

ウ. Result[i] ← ch[m]

 \checkmark . Result[i] ← ch[K]

 \pm . Result[i] \leftarrow ch[n]

(4) の解答群

 \mathcal{T} . Dec \leftarrow i

ウ. Dec ← m

イ. Dec ← K

エ. Dec ← n

(5) の解答群

ア. Result[i]~Result[14]を順番に表示

イ. Result[i]~Result[15]を順番に表示

ウ. Result[i+1]~Result[14]を順番に表示

エ. Result[i+1]~Result[15]を順番に表示